

演習①

「多職種連携について」【個人ワーク & グループワーク】

○多職種連携が上手くいった事例

○多職種連携が上手くいかなかった事例

○多職種連携を行う上での工夫

演習②

「サービス担当者会議について」【個人ワーク & グループワーク】

○各サービス提供者間で情報共有を行う際に、どのような工夫や注意が必要か

「地域ケア会議について」【個人ワーク & グループワーク】

○実際に会議に参加する際に直面した課題、または起こり得る課題

○課題に対する解決策はなにか

演習③

「医療連携のベストプラクティスを考える」【個人ワーク&グループワーク】

○医療機関や多職種から情報を収集する際にどのような点に気を付けるべきか

○医療機関や多職種とのコミュニケーションで、誤解を生まないための工夫はなにか

○医療機関や多職種との長期的な連携を視野に入れて、信頼関係を築くための具体的なアプローチ方法はなにか

演習④

「意思決定支援における多職種連携について」

【個人ワーク】

○これまでに利用者の意思決定支援を行った経験はあるか？その際、多職種との連携がどのように行われましたか？

※経験がない場合はどのような場面が想定され、連携がどのように行われそうかを考える。

○医療ソーシャルワーカーや家族、医師などの専門家と連携して利用者の意思を尊重するためにどのような支援を提供したか（できそうか）

○あなたが考える「意思確認ができない場合の最善策」はどのようなものか

【グループワーク】

（事例）高齢の要介護者 A さんは、認知症の進行により自分の意思を表明できない状態です。家族は延命治療を望んでいますが、A さんが過去に「自然に任せたい」と話していたことを介護支援専門員が知っています。

医療チーム、ソーシャルワーカー、家族とどのように連携し、A さんの意思を尊重するための支援を行うべきか、具体的なアプローチを話し合う。

演習⑤【個人ワーク & グループワーク】

“主任介護支援専門員としての医療連携と多職種協働の構築のための実行計画”

目標	そのために